

2006 年度

科目名 演習Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文4回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 卒業研究の作成		
授業の概要と目標 三回生の演習を土台として、文学作品に対する理解と問題意識を深めて、卒業研究の作成にそなえる。		
評価方法 課題に取り組む姿勢（50％） 研究発表（50％）		
テキスト	著者	出版社
参考書 演習のガイダンスで紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 前期は中世の文学作品を題材として、各自がそれぞれにあたためた研究テーマについて、研究発表を行います。発表後は参加者全員がその発表に対して相互批判をおこない、そこで浮上した問題点についてを討論します。発表者だけでなく、ゼミに参加するもの全員の問題意識が高められることを期待します。 後期は、卒業研究をまとめるにあたって、自己の研究対象・研究方法などを個別の指導によって確かなものにして行きます。資料の調査と吟味を重ねて、研究を確実なものに練り上げていくことを目的とし、平行して、論文の書き方も学びます。 そのような階段を経て、12月には卒業研究の下書きを提出してもらい、その完成にそなえます。		